

ごあいさつ

平素より私ども鳥取銀行に対しまして格別のお引立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、当行の平成25年3月期の決算概要や最近の取組みなどについてご紹介する「2013年 鳥取銀行ディスクロージャー誌」を発刊いたしました。ご高覧のうえ、ご参考にいただければ幸いです。

さて、平成24年度は、東日本大震災の復興関連需要等を背景とした持ち直しの動きが見られたものの、欧州債務問題や新興国をはじめとする海外経済の減速によって輸出や生産が減少し、加えて日中関係の悪化等により先行き不透明な状況が続いておりました。そのようななか、昨年末に発足した新政権によるデフレ脱却に向けた政策推進への期待感から、円高修正や株価回復の動きが生じ、期末の日経平均株価は1万2千円台を回復いたしました。

このような環境の下、当行では平成24年4月より、中期経営計画「考動と開革24-26」に取り組んでおります。この計画では、急速なグローバル化や高齢化など、地域社会が大きな変革期を迎えるなか、お客さまの課題解決や夢の実現に向けた最適なソリューションを提供していくことにより、「地域と共に新たな時代を切り拓く銀行」を目指してまいります。

今後とも皆さまの信頼とご期待にお応えできるよう全役職員が一丸となって努力してまいりますので、一層のご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年7月

取締役頭取 宮崎 正彦



CONTENTS

ごあいさつ	表紙裏	法令等遵守(コンプライアンス)態勢	P14
中期経営計画 考動と開革 24-26	P1	リスク管理体制	P15
特集 地域に感謝 未来のためにできること	P2	お客さま保護への取組み	P19
特集 販路拡大支援 とりぎん発全国行き!	P4	中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組みの状況	P20
特集 より便利な店舗・ATMを目指しています	P6	地域密着型金融への取組み	P24
特集 『信頼と笑顔』をお届けしたい	P8	お客さまの安全のために	P26
とりぎんの「いま」(平成24年度決算のご報告)	P10	とりぎんの概要	P27
コーポレート・ガバナンスの状況	P13	鳥取銀行の業績	P33

<計画期間：平成24年4月～平成27年3月>

中期経営計画
考動と開革
24-26

目指す姿

地域と共に新たな時代を
切り拓く銀行

急速なグローバル化や高齢化など地域社会が大きな変革期を迎えるなか、お客さまの課題解決や夢の実現に向けた最適なソリューションを提供し、地域と共に新たな時代を切り拓く銀行を目指します。

基本方針

お客さま志向に徹した金融サービスの提供
きめ細かいコンサルティング機能の発揮
ふるさと価値の創造

行動方針

信頼と笑顔
地域に感謝 move your heart

基本戦略

ゆるぎない営業基盤の構築

- 営業人員の増員と資質向上による現場力の強化
- 地域密着型金融の更なる実践
- 個人リテールビジネスの強化

経営効率の向上

- 新システム活用による業務効率化
- 本部スリム化と店舗再整備による経営資源の戦略的再配置
- 抜本的なコスト見直し

とりぎんブランドの確立

- ユニークな店舗展開と商品・サービスの充実
- 効果的な広告宣伝・広報活動の展開
- 地域社会への貢献と環境保全に関する活動
- ホスピタリティの向上とバリアフリーの推進

人財力の強化

- 女性行員やパートナーの活躍機会拡大
- コンサルティング能力の向上・発揮
- モチベーションの向上

『規律ある組織』の形成

- 強固なコンプライアンス態勢の構築
- 高度なリスク管理態勢の整備
- 決めたことをやり抜く実行力の向上

計数目標 (平成26年度)	コア業務純益 30億円以上	本体行員数 675人程度	不良債権比率 2%台	総預かり資産残高 1兆円以上
------------------	------------------	-----------------	---------------	-------------------

会社概要 (平成25年3月31日現在)

本店所在地	鳥取市永楽温泉町171番地	従業員数	711人
前身銀行設立	大正10年12月15日	総資産	9,321億円
創立	昭和24年10月1日	預金	8,661億円
資本金	90億円	貸出金	6,432億円
店舗数	70ヵ店 県内58ヵ店、県外12ヵ店 (その他1代理店、1事務所)		